

袖師保育園 自己評価チェック 集計結果

(2024)年度

評価方法→Aよくできている・Bできている・Cどちらでもない・Dできていない

自己評価チェックリスト①

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<勤務態度・姿勢・職員間の連携など >	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	遅刻せず、時間内に余裕をもって出勤し、出勤簿に押印している	18	11	6	1	0	0	64	3.6	A
2	挨拶や電話、来客対応ができる(園児や保護者だけでなく、業者、見学者などにも積極的に挨拶しているか)	18	12	6	0	0	0	66	3.7	A
3	言葉遣いに気を付け、常に笑顔で心がけている	18	11	7	0	0	0	65	3.7	A
4	仕事に適した身だしなみに注意している(清潔感・髪の毛をしばる・過度のメイクや髪の色など)	18	13	4	0	1	0	65	3.7	A
5	自己の健康管理が出来ている(睡眠・3食・予防接種・体調不良時の申告など)	18	12	4	1	1	0	63	3.5	A
6	自己の職責を理解している(守秘義務違反・職種や園の信用を無くす行為や発言をしていないか)	18	17	1	0	0	0	71	4.0	A
7	上司の指示や言葉を肯定的に受け止めたり、定められた規則、手続きを守ることができる	18	13	4	1	0	0	66	3.7	A
8	ケガやトラブルなどがあったときは大小問わず、園長等に報告している	18	7	10	1	0	0	60	3.4	B
9	職員間で常に報告、連絡、相談の体制が機能している	18	13	5	0	0	0	67	3.8	A
10	職員間で各々の特性や短所、長所を理解し、良い方向へ進めるよう努力している	18	8	10	0	0	0	62	3.5	A
11	職員間でコミュニケーションをよくとり、後輩が安心して相談できるような雰囲気作りを心がけている	18	9	9	0	0	0	63	3.5	A
12	困ったときは先輩後輩を問わずお互いに適切な援助をすることができる	18	12	6	0	0	0	66	3.7	A
13	公平に人の話を聞いたり、話したり、正直に伝達できる	18	14	4	0	0	0	68	3.8	A
14	他人の立場、心情を理解するよう努めている(子ども、保護者、職員間の軽はずみな批判はしていないか)	18	11	7	0	0	0	65	3.7	A
15	苦手な分野にもチャレンジしようという意欲がある	18	2	12	4	0	0	52	2.9	B
16	研修で得たことや気づいたことを自分の業務で実践している	18	6	9	2	0	1	55	3.1	B
17	指定された研修以外にも、自分で知り得た研修への参加伺いができる	18	2	8	3	4	1	42	2.4	C
18	組織の一員であることを自覚し、行動している(許可のない活動や扇動、越権行為はしていないか)	18	13	5	0	0	0	67	3.8	A
19	会議などで積極的に発言できる	18	3	6	6	1	2	43	2.4	C
20	誤字や脱字のない、内容が正確に伝わる文章が書ける	18	1	15	1	1	0	52	2.9	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目(複数回答可)

自己評価チェックリスト②

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保育の姿勢など>	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	保育園に勤務する職員としてふさわしい態度で子どもと接している(適切でない言葉がけや不必要な禁止語、恫喝などを行っていないか)	18	4	14	0	0	0	58	3.3	B
2	保育所保育指針や関係法などを知り、理解するよう努めている	18	4	12	2	0	0	56	3.2	B
3	自園の理念や基本方針を理解し、それに沿った保育を行うようにしている	18	4	13	0	0	1	55	3.1	B
4	子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりと信頼関係を築くようにしている(スキンシップ、受け止めなど)	18	16	1	0	0	1	67	3.8	A
5	この子はこうだと決めつけず、常に長所や優れた面を発見しようと心掛けている	18	14	4	0	0	0	68	3.8	A
6	一日の終わりにそれぞれの子どもがしていたことが言える	18	5	10	1	0	2	52	2.9	B
7	毎朝子ども一人ひとりに視診を行い、健康状態を確認し、異常に気づくことができる	18	11	5	0	0	2	59	3.3	B
8	子ども一人ひとりに平等に接している	18	14	4	0	0	0	68	3.8	A

9	子どもの家庭環境なども把握して、適切に対応している	18	8	9	0	0	1	59	3.3	B
10	日々の保育など、常に予め計画を立てて事前の準備や環境設定をし、保育に望むようにしている	18	7	9	1	0	1	57	3.2	B
11	毎日の清掃の他、適切に消毒を行ったり、空気清浄器や加湿器などを正しく使用して環境の衛生に努めている	18	11	6	1	0	0	64	3.6	A
12	室内外の設備や玩具などについて、常に安全点検や危険物の排除などを行っている	18	10	6	1	0	1	60	3.4	B
13	園の備品や設備を丁寧に扱うとともに、子ども達に玩具等の扱いについて日々指導している	18	12	5	0	0	1	63	3.5	A
14	保育における情報に関心を持ち、情報誌や専門書、インターネットなどで外部情報を取り入れている	18	7	9	2	0	0	59	3.3	B
15	自らの保育実践を定期的に振り返り、評価し、向上に努めるように努力している	18	4	10	3	0	1	52	2.9	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目（複数回答可）

自己評価チェック③

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保育内容など>	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	子どもの各発達過程について理解している	18	7	10	1	0	0	60	3.4	B
2	子どもの発達の特性や段階を理解し、個々に応じた適切な援助を行っている	18	9	8	0	0	1	60	3.4	B
3	離乳食の進め方がわかる	18	7	5	5	0	1	53	3.0	B
4	食育の必要性を理解し、日々の保育の中に取り入れている	18	6	9	2	0	1	55	3.1	B
5	乳幼児期にかかる病気や感染症の症状や対策がわかる	18	5	12	1	0	0	58	3.3	B
6	乳幼児期の起こりやすい事故やケガへの適切な対応ができる	18	3	14	1	0	0	56	3.2	B
7	年齢や月齢に合った玩具を用意し、子どもに選択肢をもたせて使用している	18	5	12	0	0	1	56	3.2	B
8	動物を飼育したり植物を育てたりする環境を整え、その成長や収穫の喜びを味わえるよう配慮している	18	4	4	7	1	2	43	2.4	C
9	自由遊びの中で、草花遊びや泥んこ遊びなど自然と直接触れ合う遊びを積極的に取り入れている	18	6	6	5	0	1	52	2.9	B
10	保育士の利便性だけでなく、子ども主体の環境構成となるようクラス環境を工夫している	18	5	11	1	0	1	55	3.1	B
11	子どもの知的欲求の変化に気づき、探究心や知的好奇心を満たしたり、引き出したりするよう配慮している	18	7	10	0	0	1	58	3.3	B
12	絵本や紙芝居などに親しみ、言葉を育てていくように配慮している	18	12	5	0	0	1	63	3.5	A
13	その日の子どもの様子や天候などに応じて柔軟に対応し、豊かな保育を行うことができる	18	7	10	0	0	1	58	3.3	B
14	障害の種類やその特性を理解し、適切な援助ができる	18	5	8	4	0	1	52	2.9	B
15	気になる子や障害児の保育について前向きに受け止めて保育することができる	18	8	8	1	0	1	58	3.3	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目（複数回答可）

自己評価チェック④

合計点と園の評価について

A:4点 B:3点 C:2点 D:1点
3.5以上:A 2.5以上:B 1.5以上:C 1.5未満:D

	<保護者や地域とのかかわりなど>	人数	A	B	C	D	未記入	合計点	平均点	園の評価
1	保護者との接し方は平等になるよう心掛けている	18	15	3	0	0	0	69	3.9	A
2	保護者には丁寧な言葉で敬語を正しく使って話している	18	15	3	0	0	0	69	3.9	A
3	保護者に対して園の理念や方針について話ができる	18	4	13	1	0	0	57	3.2	B
4	園の方針を理解したうえで、「こんなクラスにしたい」と保護者に言える	18	5	10	2	0	1	54	3.0	B

5	保護者と積極的にかかわり、子どもの変化や出来事などをできるだけ伝えるようにしている	18	7	8	2	0	1	56	3.2	B
6	ケガや事故の時には、その日のうちに状況や原因などを細かく説明している	18	12	5	0	0	1	63	3.5	A
7	保護者からの保育に対しての訴えや要望、意見などを受け止めている	18	9	7	1	0	1	59	3.3	B
8	まずは保護者の話を十分に聴き、思いを受けとめながら信頼関係を築くよう心掛けている	18	11	6	0	0	1	62	3.5	A
9	どの保護者とも子どものことについて話ができる	18	11	5	1	1	0	62	3.5	A
10	園と保護者の双方の立場を理解し、保護者に対し必要な応じた適切なアドバイスができる	18	4	11	2	0	1	53	3.0	B
11	連絡帳などは毎日必ず読み、丁寧に返答するとともに、職員間で内容の共有を行っている	18	14	3	0	0	1	65	3.7	A
12	分からない事や自分の判断で答えられない場合は、園長などに相談してから返事をしている	18	12	6	0	0	0	66	3.7	A
13	保護者の気持ちを思いやり、その気持ちに沿った言葉かけができる	18	8	9	0	0	1	59	3.3	B
14	保育園見学など、初対面の保護者とも積極的にかかわることができる	18	6	10	1	1	0	57	3.2	B
15	保育園見学などの保護者に対して簡単な案内をしたり、自園の良さをアピールすることができる	18	4	11	3	0	0	55	3.1	B

自己評価の最も低い項目、又は苦手とする項目（複数回答可）

【1】勤務態度・姿勢・職員間の連携について

子どもたちが安心して一日を過ごすためには、職員一人ひとりのプロ意識と、職員間の円滑なチームワークが不可欠です。今回の評価では、特に「自己の職責を理解している(守秘義務違反等をしない)」という項目で平均4.0という満点の評価を得ることができました。これは、全職員が保育士としての高い倫理観と責任感を持っていることの表れです。

また、「挨拶や言葉遣い」「報告・連絡・相談の体制」「お互いに助け合う姿勢」といった、日々の基本的な勤務態度や連携面においても、軒並みA評価という高い結果となりました。職員同士が互いを尊重し、常に情報を共有しながら一つのチームとして動く体制が強固であることを再確認できました。

一方で、研修への参加や会議での発言といった、より主体的な自己研鑽や発信については課題も見られました。この点を改善し、職員一人ひとりが持つ知識や経験を園全体でさらに共有し、保育の質を組織全体で高めていけるよう、今後も努力してまいります。

【2】子どもたちへの関わり方(保育の姿勢)について

私たちの保育の根幹は、お子様一人ひとりとどう向き合うかという「保育の姿勢」にあります。今回の評価で、「子どもの気持ちに寄り添い、信頼関係を築く」「決めつけずに長所を発見する」「一人ひとりに平等に接する」という3つの項目で、全部門中トップクラスの高い評価を得られたことを、大変嬉しく思います。

これは、私たち職員がすべてのお子様に対し、一人ひとりの個性や気持ちを何よりも尊重し、温かい眼差しで関わっていることの証明であると考えております。お子様が「自分は愛され、大切にされている」と感じられる安心感の中で、のびのびと自分らしさを発揮できるよう、今後もこの姿勢を大切に育んでまいります。

保育指針や園の理念・方針の理解といった専門性の部分では、まだ向上の余地があることも認識いたしました。日々の愛情ある関わりを土台としながら、専門的な知識の学習にも一層力を入れ、より質の高い保育を提供できるよう精進してまいりますので、ご安心ください。

【3】保育の環境と内容について

子どもたちの健やかな成長には、安全で意欲をかき立てられる環境と、豊かな体験ができる保育内容が欠かせません。

安全・衛生面では、「環境の衛生(清掃・消毒)」「園の備品や設備の丁寧な扱い」がA評価となり、子どもたちが毎日を安全で清潔な環境で過ごせていることが確認できました。また、心の育ちの面では「絵本や紙芝居に親しみ、言葉を育てる配慮」が高い評価を得ており、子どもたちの豊かな感性や言葉の世界を広げる取り組みが実践できていると考えています。

一方で、「動植物の飼育・栽培」や「自然と触れ合う遊び」、「障害への理解」といった項目では、さらなる努力が必要なことも明らかになりました。知識や専門性を深めるとともに、子どもたちが五感を使って自然に親しんだり、多様な友だちと関わり合ったりする豊かな体験を、より一層計画的に提供できるよう、職員間で知恵を出し合い改善に努めてまいります。安全な基盤の上で、子どもたちの「やってみたい」という気持ちをさらに引き出す保育を展開していきます。

【4】保護者の皆様や地域との関わりについて

私たちは、保護者の皆様を「子育てのパートナー」と考え、皆様との信頼関係を築くことを何よりも重視しています。

今回の評価では、「保護者との平等な接し方」「丁寧な言葉遣い」「連絡帳の丁寧な確認と職員間での共有」「分からないことは園長等に相談してから返事をする」といった、皆様と向き合う際の誠実な姿勢を示す項目で、軒並みA評価という大変高い結果を得ることができました。また、「まずは保護者の話を十分に聴く」「どの保護者とも子どものことについて話ができる」といった点も高く評価されており、皆様とのコミュニケーションを大切にする園の姿勢が全職員に浸透していることが確認できました。

今後は、園の良さをアピールしたり、子育てに関する適切なアドバイスをしたりといった、より一歩踏み込んだ情報発信や専門的な関わりについても力を入れてまいります。これからも皆様との対話を大切にし、何でも気軽に話せる、より信頼される保育園であり続けられるよう努めてまいります。

【全体のまとめ】

2024年度の自己評価を通じて、袖師保育園の職員が持つ「高い職業倫理と責任感」「子ども一人ひとりへの温かく平等な眼差し」「保護者の皆様に対する誠実なコミュニケーション姿勢」といった強みを、改めて確認することができました。これは、日頃より保護者の皆様から寄せられる信頼とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

同時に、研修への主体的な参加や、自然体験・多様な体験活動の充実、専門性を踏まえた情報発信など、私たちの成長すべき点も明確になりました。

この結果に甘んじることなく、また課題から目をそらすことなく、職員一同、今回の評価を真摯に受け止め、皆様からお預かりしている大切なお子様一人ひとりの健やかな成長のために、より一層保育の質の向上に努めてまいります所存です。

今後とも、当園の保育にご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。